

俱知安町営プール絵本館複合拠点施設整備基本計画【概要版】

1. 計画策定の目的と位置づけ

俱知安町営プールは、竣工から約40年経過し天井鉄骨の一部が落下するなど危険な状態であった。建物診断調査を実施したところ、施設全体の耐震性不足も明らかとなり令和2年度より利用を休止している。また、町内2カ所の学校プールについても老朽化に伴い利用を休止しており、学校授業での活用も想定した新プールの建替を目的に、令和4年10月に俱知安町営プール建替基本構想を策定し、建替に向けた基本的方針や施設機能及び整備候補地について位置づけを行った。

加えて、旧体育館を活用している青少年センター（絵本館）及び世代交流センターについても、老朽化が進んでいることから、これらを含めた複合的な拠点施設の整備を進めることとした。

本基本計画業務において、機能や規模、敷地配置、事業手法やスケジュールなどの具体的な施設プランを整理し「俱知安町営プール絵本館複合拠点施設整備基本計画」として令和5年9月に業務を完了した。

2. 業務内容

①基本的方針の検討 ②必要機能の設定（基本機能、諸室の面積、ゾーニングの検討） ③環境負荷軽減施策の検討（再生可能エネルギーの導入可能性調査、省エネルギー化の検討） ④敷地選定 ⑤整備計画（概算事業費・維持管理費用・長寿命化計画の想定） ⑥事業スキームの検討 ⑦事業運営計画 ⑧事業スケジュール想定

3. 業務進捗状況

①基本的方針の検討

- 基本的方針および個別方針を以下に設定
「誰もがいつでも安心して利用でき、多様な活用によって、世代を超えた交流が生まれる拠点づくり」

- ①バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮し、快適にスポーツや健康増進活動ができる場所の提供
- ②誰でも自由に居心地の良い空間形成により、コミュニティが生まれ、子ども大人も成長できる。
- ③施設のメンテナンスや環境への負荷が少ない施設の整備
- ④周辺施設の機能強化に繋がり、俱知安町の魅力を向上できる建設敷地の選定

②必要機能の設定

a.基本機能

- 複合施設の基本機能として、プール機能・絵本館機能・多目的ルーム（コミュニティスペース）機能を設定し、求められる要素について検討を行った。

b.諸室の面積およびゾーニングイメージ

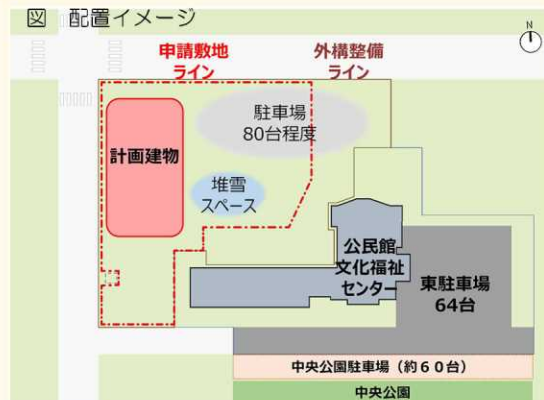
- 必要機能に戻づく諸室面積を、先進事例および蔵書数等2500㎡と設定し、新施設のゾーニングイメージについて、今後の設計提案も想定し検討した。

③環境負荷軽減施策の検討

- 再生可能エネルギーの活用および省エネルギー化の観点から、先進事例の調査研究やヒアリング等により検討した。
- 上位計画および需要等を考慮し、木質チップ等のバイオマスボイラーを主たる熱源の候補とし、その他断熱性の確保や省エネ設備の導入などを検討する事とした。

④敷地選定

- 世代交流センターおよび青少年センター（絵本館）を解体し、文化福祉センター（公民館）北側敷地も含めて整備する事として申請敷地／外構整備ラインを設定した。



⑤整備計画

- 概算事業費について、類似事例および物価上昇等を考慮し、建設工事費を約20億円と想定、設計・監理費／外構工事／備品管理費／解体工事含めた総事業費を27.6億円とした。
- 維持管理費用について類似事例等をもとに検討した。

費用項目	金額 税込・百万円	費用項目	金額 税込・百万円
A. 建設費		B 設計・管理費	189
建築工事費	1,690	C 外構工事費	110
電気設備工事費	183	D 備品整備費	63
機械設備工事費	130	E 解体工事費	390
計	2,003	計	75.2

※持管理費用及び長寿命化計画
は本編に掲載

A～E 合計 27.6億円

3. 業務進捗状況

⑥事業スキームの検討

- 基本構想で想定した各事業手法について、手法の特性、市場性等の調査を通じて、メリット・デメリット整理した。
- 交付金・補助金の活用、町及び町民意向の反映の容易性、民間の創意工夫の反映の余地、町内事業者の主体的参画可能性、経済性等の視点から、新施設は「従来方式＋指定管理者方式」を最適な事業手法として選定した。
- 官民連携事業の導入により、町が従来方式で運営する場合に比べて、運営費用の削減や運営面でのサービスの質の向上などの効果が期待される。

⑦事業運営計画

- 交流拠点として子どもからシニアまで、世代や国籍を問わず幅広い利用を想定
- プール／絵本館／多目的ルームの複合的な整備により、多様な利用機会が創出され、世代を超えた活用が可能。
- 小学校5校すべての水泳授業を受け入れる事とし、平日午前中の利用を想定
- 団体／サークル活動の日常的な活動やイベント、水泳大会等で活用
- 指定管理者との連携・協力により自主事業等による幅広い世代の定期的な利用を期待
- 国内外から多くの観光客が訪れるニセコリゾートの中心地として、滞在者がインドアで利用可能な施設として活用

⑧事業スケジュール想定

- 基本計画を策定後、令和6年度に基本設計／実施設計を予定
- 令和7年、8年度の2カ年での建設工事を予定（※冬期間は休校）、令和8年度末以降の開業を予定
- 整備敷地内の既存施設（世代交流センター・青少年センター（絵本館）・文化財保存庫）は、令和5年度に解体設計の上で令和6年度に除却する。

図 事業スケジュール



俱知安小学校・東小学校プールは令和6年度に解体設計の上で令和7年度以降に解体を予定。旧町営プールは供用開始後5年以内の解体を予定します。

4. 検討体制および経過

- 新施設はスポーツや文化活動／生涯学習活動など、多様な活用が想定されることから幅広い視点で検討を進めた。
- プール機能は、関係団体等へのヒアリングと意見交換を実施、基本構想時に実施した町民向け／利用者向けアンケートも行った。
- 絵本館機能は、WS形式の検討会を実施。利用者／町内小中学生へアンケートを実施した。
- 庁内職員によるプロジェクトチームにより、幅広い視点での検討を行った。

※絵本館WS



図 新施設のイメージ

